

有水中学校校長室より

令和4年11月18日(金)

文責 木宮 崇子

家庭での学習の様子はどうですか?

家庭で生徒たちは学習にたっぷりと取り組んでいるでしょうか。まず、家庭には様々な誘惑があります。以前、何かの研修会の際メディア関係の研究をしている大学教授の話で〔勉強しないのはなぜか。勉強を妨げるものは何か。そこにはスマホという敵がいる。〕というメッセージがありました。いつの時代も、中学生は時代の流行ツールに心惹かれるものですね。次に、学習するのは何故かという疑問を持ち始めることにより、学習しないという現象が起ります。もっと簡単に言えば、「何で勉強するか意味わからない」といったところでしょうか。そして、学習におもしろさを感じない。楽しいと感じない。ということでしょうか。

保護者、教師、地域の方々という生徒を取り巻く大人は、「学ぶことの大切さ」をしみじみと教えていくことが使命だと感じています。生徒を取り巻く情報の中には「勉強なんでも大丈夫。なんとかなるさ。」といった中学生には心地よいメッセージがあります。考えてみれば、心地よく都合のいいメッセージの方はウケがいいわけです。ウケの悪いメッセージを発信しても儲からないからですね。このからくりに気づくことができる力はやはり、「学ぶことで、頭が活性化」することが土台となるのではないでしょうか。

学んで身につけた力は、人生を切り開く道具です。中学生は義務教育の出口にいます。生きていく上で大切な力を身につける絶好の時代です。「学ぶこと」の大切さを各ご家庭の言葉で諭していただけたらと心から感じています。

返信の紹介です いつもありがとうございます。

○ 中学生になってからは、自分の部屋で学習するようになりました。毎日数回の声かけ等をしています。宅習の時も出された課題などきちんとされている方でしたが、キュビナになってからはそれ以上にがんばっているように思えます。本人は宅習の方がいいと言っていますが、親からだと、キュビナを取り入れてもらえての学習は大変意義があると思います。

○ 子どもたちだけではなく、大人も学び続けることでも大切だと常々考えています。社会に出ると自分の仕事のことを学ぶことと同じくらい様々なことを学ぶことが必要となります。家事、育児、仕事をこなしながら学びの時間を確保することは大変ですので、スキ間時間を活用する事を大切に思っています。ちょっととした10分を大切にすることで、その積み上げが大きな力になりますし、1時間は集中できなくても、短時間でもあれば超集中できると実感しています。だから、我が家ではスキ間時間を大切にします。

10月から、家庭学習は、宅習、キュビナ、問題集など、自分に合った方法を見つけて取り組むこととなっています。自分の力を伸ばす最適な学習の形で効率よく学力を伸ばす。学習の方法を見つけること自体が学びとなります。

問題集やキュビナをしています。学習の時間は減った感じがするけれど、問題を解くことで、何かを勉強したなあと感じます。

ワークブックをしています。自分のしたい学習に取り組む事ができます。

宅習派だったけど、今は、問題集や、キュビナをしています。

生徒の声です。【思考】しながら学習している感覚を感じているようです。土台としての暗記は必要です。これに加えて、思考する学習を家庭で、自ら取り組めることはすばらしいことです。